日日是Oracle APEX

Oracle APEXを使った作業をしていて、気の付いたところを忘れないようにメモをとります。

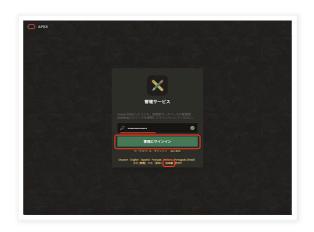
2021年8月16日月曜日

データベース・セキュリティの活用(1) - ワークスペースの準備

Always FreeのAutonomous Database(Autonomous Transaction Processing)のインスタンスをひとつ作成した直後から作業を始めます。

APEXアプリケーションを作成するワークスペースをAPEXDEV、データを保持するワークスペースをHRとして作成します。ワークスペースHRを作成するときにデータベースのスキーマHRも作成しますが、これはサンプル・データセットEMP/DEPTをスキーマHRに導入するためです。スキーマHRは上記のサンプル・データセットのインストール以外の用途(例えばAPEXのアプリケーション開発等)では使用しません。

Autonomous Database作成直後にAPEXにアクセスすると、開発に使用できるワークスペースが未作成であるため**管理サービス**へのサインインを求められます。作成したAutonomous DatabaseのユーザーADMINのパスワードを入力し、**管理にサインイン**します。サインインの前に**言語**を**日本語**に切り替えておきます。



ワークスペースがひとつもないため、**ワークスペースの作成**を求められます。ボタンをクリックします。

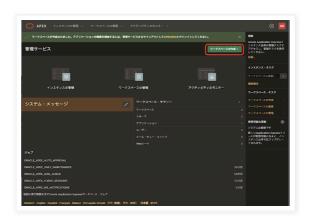


データベース・ユーザー(スキーマ名)、パスワード、ワークスペース名の入力を求められます。今回はAPEXDEVとします。ここで指定するデータベース・ユーザー名とパスワードを、ワークスペースへのサインインに使用します。パスワードが意図した通りに入力できているか注意が必要です。

大文字ではなく小文字が入っていたとしても後から確認する方法はなく、パスワードのリセット (ALTER USER ... IDENTIFIED BY ...といったコマンドの実行)が必要になります。

ワークスペースの作成	
新規ワークスペースで使用する新規または既存のデータペース・ユーザーを指定してく ださい。	
* データベース・ユーザー	APEXDEV §≡ ⊘
* パスワード	············
* ワークスペース名	APEXDEV 🗇
▶ 詳細	
取消	ワークスペースの作成

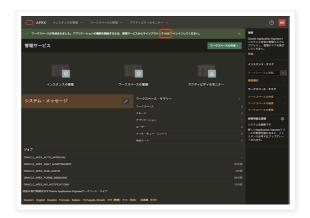
ワークスペースAPEXDEVが作成されたら、すぐにワークスペースHRを作成します。**ワークスペースの作成**をクリックします。



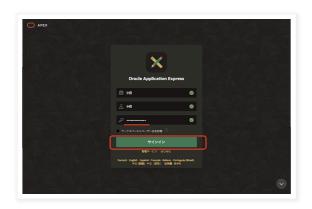
データベース・ユーザーはHR、パスワードを設定し、ワークスペース名はHRとします。ワークスペースの作成をクリックします。



ワークスペースHR(およびスキーマHR)が作成されます。管理サービスからサインアウトしてワークスペースHRにサインインします。メッセージに含まれるHRのリンクをクリックします。



ワークスペースHRへのサインイン画面が開きます。**データベース・ユーザーHR**の**パスワード**を入力し、ワークスペースに**サインイン**します。



ワークスペースHRにサインインしたら、**SQLワークショップ**の**ユーティリティ**より**サンプル・データセット**を呼び出します。



サンプル・データセットのEMP/DEPTをインストールします。



言語は**English**、インストール先の**スキーマ**は**HR**とします。今回は表EMPのENAMEを使う認証スキームを作成するため、言語は**English**を選択します。**次**に進みます。



確認画面が表示されるので、データセットのインストールを実行します。表EMPとDEPT、ビューEMP_DEPT_VがスキーマHRに作成されます。



データセットのインストールが完了したら終了します。アプリケーションの作成は行いません。



ワークスペースの準備作業は以上で終了です。ワークスペースHRからサインアウトします。左上の**アイコンをクリック**し、**サインアウト**を実行します。



これ以降、ワークスペースHRにサインインして行う作業はありません。ワークスペースAPEXDEVのみ使用します。

ベ ホーム

ウェブ バージョンを表示

自己紹介

Yuji N.

日本オラクル株式会社に勤務していて、Oracle APEXのGroundbreaker Advocateを拝命しました。 こちらの記事につきましては、免責事項の参照をお願いいたします。

詳細プロフィールを表示

Powered by Blogger.